

- 問1 現在の日本の財政において、歳入のうち税金などで賄いきれない不足分を補うために発行されている「公債」に関する説明として、仕組みや背景を正しく述べているものはどれですか。 (2025年 鹿児島公立入試 類似)
1. 将来の世代が返済の負担を負うことになる、国による借金である。
  2. 返済の義務がない資金であり、国の純粋な利益として計上される。
  3. 地方公共団体が国に無償で提供する寄付金のことである。
  4. 日本銀行が政府の許可なく、通貨を増刷して全てを賄う仕組みである。
- 
- 問2 1970年代末から2010年代後半にかけての日本の財政状況について、歳入総額に占める公債金の割合（国債依存度）と国債残高の推移を説明した文として、最も適切なものを次のうちから選びなさい。 (2020年 千葉県公立入試 類似)
1. 国債残高は1980年代から一貫して増加しており、2010年代後半には800兆円を大きく超える規模に達している。
  2. 国債依存度は1980年代後半に低下したが、その後は一貫して上昇し続け、2018年度に過去最高を記録している。
  3. 歳入不足を補うための国債発行により、2010年代に入ってから国債残高は減少に転じている。
  4. 国債依存度が30%台まで低下した年度においては、国債残高も連動して前年度より減少している。
- 
- 問3 日本の社会保障制度のうち、高齢化の進展に伴い介護を必要とする人を社会全体で支えることを目的とした制度について、40歳以上の国民が保険料を出し合い、介護が必要な状態になった際に介護サービスを受けられる仕組みを何と称しますか。 (2020年 高知公立入試 類似)
1. 介護保険制度
  2. 国民年金制度
  3. 健康保険制度
  4. 雇用保険制度
- 
- 問4 ある国の経済政策を検討する際、縦軸に「社会保障の充実度（福祉の高さ）」、横軸に「国民の金銭的負担（負担の重さ）」をとった座標平面を想定します。現在の「低負担・低福祉」の状態から、将来的に公的な医療や介護、子育て支援などのサービスをより手厚くする方向へ政策を転換する場合、国民の負担と福祉の関係はどう変化すると考えられますか。 (2023年 鳥取公立入試 類似)
1. 税金や社会保険料の負担が増えることで、社会保障が手厚くなる「高負担・高福祉」の領域へと移行する。
  2. 税金の負担を減らしながら、国の借金である公債のみを財源として、永続的に福祉サービスを充実させる。
  3. 社会保険料の負担を現状維持のまま、ボランティア活動を主体とすることで福祉の質を高める。
  4. 国民の金銭的負担を高く設定する一方で、公的な社会保障給付を削減し、行政のスリム化を図る。
- 
- 問5 政府が不況期に減税や公共投資の拡大を行う理由として、経済にどのような影響を与えることを目的としていますか。 (2021年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 企業や家計の所得や支出を増やすことで、社会全体の需要を刺激する
  2. 通貨の流通量を減らすことで、物価の急激な上昇を抑制する
  3. 政府の財政赤字を解消し、将来的な世代の負担を軽減させる
  4. 銀行の金利を低く誘導し、企業が資金を借りやすくする
- 
- 問6 社会保障の充実を訴える議論の中で、よく取り上げられる「社会保険」という制度の性質について、正しい説明はどれですか。 (2021年 鳥根公立入試 類似)
1. 加入者が支払う保険料を主な財源として、病気や高齢などのリスクに対して必要な給付を行う仕組み。
  2. 生活に困窮する人々に対し、全額公費（税金）によって最低限度の生活を保障する仕組み。
  3. 児童や高齢者、障害者などに対して、施設での保護や専門的な相談・支援サービスを提供する仕組み。
  4. 予防接種や公害対策、環境衛生の整備など、社会全体の健康と安全を維持するための仕組み。
- 
- 問7 1980年代後半から2010年代前半にかけての日本の税金の推移を振り返ると、バブル崩壊やリーマンショックといった経済状況の変化により、所得税や法人税の税金は激しく増減しました。この期間における消費税率の動向について述べた文として正しいものを次から選びなさい。 (2020年 大阪公立入試 類似)
1. 税率改定による変化を除けば、景気の良し悪しに関わらず一定の税率水準を維持している。
  2. 景気が悪化した時期には、所得税よりも大幅に税率が落ち込んでいる。
  3. 好景気の時期にのみ税率が増え、不景気の時期にはほとんど税率がなくなる。
  4. 法人税の増減と完全に連動しており、景気変動の影響を最も強く受けている。
- 
- 問8 日本の社会保障制度のうち、国民が「保険料」を出し合い、病気やけが、失業、高齢などの生活上のリスクが生じた際に給付を受ける仕組みを何と称しますか。 (2020年 大阪公立入試 類似)
1. 社会保険
  2. 社会福祉
  3. 公的扶助
  4. 公衆衛生
- 
- 問9 デンマークなどの北欧諸国で見られる、国民が支払う税金や社会保険料などの負担が重い代わりに、年金、医療、介護といった社会保障サービスが極めて手厚く提供される社会モデルを何と呼びますか。その仕組みとして最も適切な説明を選びなさい。 (2019年 秋田県公立入試 類似)
1. 国民が重い負担を負うことで、国が対GDP比で高い社会保障支出を行い、生活の安定を図る「高福祉・高負担」の仕組み
  2. 国民の負担を最小限に抑えることで、個人の貯蓄や自助努力によって老後の生活を維持する「低福祉・低負担」の仕組み
  3. 企業が社会保障の大部分を負担することで、国民の所得税を免除しつつ、行政サービスを維持する仕組み
  4. 国が経済活動に介入せず、民間企業が市場原理に基づいてすべての医療や教育サービスを運営する仕組み
- 
- 問10 日本の社会保障制度は大きく4つの柱で構成されていますが、そのうち「公的扶助」の特徴を説明したものと最も適切なものはどれですか。 (2015年 岐阜公立入試 類似)
1. 財源のすべてを税金（公費）で賄い、生活に困窮する国民に対して最低限度の生活を保障する。
  2. 国民が事前に保険料を出し合い、病気や失業、高齢などの際に給付を受ける。
  3. 児童、高齢者、障害者などが自立して生活できるよう、施設や家庭での相談・援助などのサービスを提供する。
  4. 予防接種や公害対策、環境衛生の改善などを通じて、国民の健康の維持・増進を図る。
- 
- 問11 日本の税制度において、所得税に採用されている「累進課税」の具体的な仕組みを説明したものと、正しいものはどれですか。 (2020年 岩手県公立入試 類似)
1. 課税される所得金額が多くなるに従って、適用される税率が5%から最高45%まで段階的に高くなる仕組み。
  2. 商品を購入した際のレシートに記載される税率のように、所得に関わらず一律10%の税を課す仕組み。
  3. 所得が一定以下の世帯に限定して、納めた税金を全額還付することで生活の公平性を保つ仕組み。
  4. 所得が多い人ほど低い税率を適用することで、個人の勤労意欲を高め、社会全体の活気を生み出す仕組み。
- 
- 問12 日本の社会保障制度の一つである「公的扶助」の具体的な例として、適切なものはどれですか。 (2026年 秋田公立入試 類似)
1. 生活保護
  2. 雇用保険
  3. 老人福祉
  4. 予防接種

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 将来の世代が返済の負担を負うことになる、 国による借金である。	公債（国債）を発行して得た資金は、現在の歳出を賄うために使われますが、これは将来にわたって利子を付けて返済していかなければならない「国の借金」です。したがって、多額の公債発行が続くことは、将来世代への負担増につながるという問題を含んでいます。
問2	答え 1 国債残高は1980年代から一貫して増加しており、 2010年代後半には800兆円を大きく超える 規模に達している。	日本の財政においては、租税などの収入だけでは歳出を賄いきれない財政赤字の状態が続いており、不足分を補うために発行される国債の残高は、1980年頃の約100兆円から一貫して右肩上がりが増加し続けています。一方で、その年度の歳入総額に占める国債発行額の割合である「国債依存度」は、2010年頃に約50%という高い水準でピークを迎えましたが、その後は30%台まで低下するなど、年度によって上昇と低下を繰り返しながら推移しているのが特徴です。
問3	答え 1 介護保険制度	高齢化社会において、家族だけで介護を行うのが困難になった背景から2000年に導入されました。この制度は、40歳以上の国民が保険料を支払い、市区町村から要介護認定を受けた際に、ケアプランに基づいた訪問介護やデイサービスなどの具体的なサービスが受けられる仕組みです。国民年金は老後の生活資金の給付、健康保険は病気や怪我の医療費負担を目的としており、それぞれ役割が異なります。
問4	答え 1 税金や社会保険料の負担が増えることで、 社会保障が手厚くなる「高負担・高福祉」の領域 へと移行する。	社会保障を充実させて「高福祉」を実現するためには、その活動を支えるための膨大な財源が必要になります。そのため、一般的に福祉のレベルを引き上げようとするならば、国民が負担する税金や社会保険料も合わせて引き上げる「高負担」の状態へと移行することになります。このように、どの程度の負担でどの程度のサービスを受けるかというバランスの選択は、現代の民主主義社会における重要な論点となっています。
問5	答え 1 企業や家計の所得や支出を増やすことで、 社会全体の需要を刺激する	不況とは、社会全体で商品やサービスに対する需要が不足している状態を指します。政府が公共事業を増やせば、関連企業の売り上げや労働者の賃金上がり、減税を行えば消費者の購買力が高まります。これらを通じて「有効需要（実際に支出を伴う需要）」を創出し、景気を上向かせるのが財政政策の狙いです。金利の調整は中央銀行が行う金融政策であり、政府による財政政策とは区別されます。
問6	答え 1 加入者が支払う保険料を主な財源として、 病気や高齢などのリスクに対して必要な給付を 行う仕組み。	社会保険の最大の特徴は、受益者（給付を受ける人）が事前に「保険料」を負担している点にあります。この保険料を財源とすることで、病気や失業といった予測困難な事態に対して必要な給付が行われます。選択肢にある「全額公費による保障」は公的扶助、「施設での保護や支援」は社会福祉、「予防接種や環境整備」は公衆衛生の説明であり、社会保険とはその目的や手段において区別されます。
問7	答え 1 税率改定による変化を除けば、景気の良し悪し に関わらず一定の税率水準を維持している。	過去の統計資料において、所得税や法人税は景気後退局面で急激に減少していますが、消費税は同様の状況下でも税収が大きく落ち込むことはありませんでした。消費税は、少子高齢化が進む中で増大する社会保障費を支えるための「安定した財源」として位置づけられています。なお、統計上で消費税収が大きく増えている箇所は、景気の影響ではなく、制度としての税率引き上げが行われたことによるものです。
問8	答え 1 社会保険	日本の社会保障の4つの柱のうち、あらかじめ出し合った保険料を財源として生活の安定を図る仕組みを指します。医療保険、年金保険、雇用保険、労災保険、介護保険の5つが含まれ、国民が互いに支え合う相互扶助の精神に基づいています。
問9	答え 1 国民が重い負担を負うことで、国が対GDP比 で高い社会保障支出を行い、生活の安定を図 る「高福祉・高負担」の仕組み	デンマークなどの北欧諸国は、所得に対する租税や社会保険料の割合（国民負担率）が非常に高い一方で、その財源を背景に、教育、医療、介護などのサービスを実質的に無償または低負担で提供しています。このように、社会全体で支え合う「高福祉・高負担」のモデルは、所得格差を是正し、国民の生活不安を軽減する目的で運用されています。
問10	答え 1 財源のすべてを税金（公費）で賄い、生活に 困窮する国民に対して最低限度の生活を保障 する。	社会保障の4つの柱のうち、あらかじめ保険料を支払う「社会保険」とは異なり、公的扶助（生活保護）は全額が税金によって賄われます。受給者は保険料の負担能力がないことが前提となっており、経済的に自立できない人々に対する最後のセーフティーネットとしての役割を果たしています。
問11	答え 1 課税される所得金額が多くなるに従って、適 用される税率が5%から最高45%まで段階的 に高くなる仕組み。	所得税の累進課税は、所得の再分配機能を果たすための重要な仕組みです。課税対象となる所得金額が上がるにつれて適用される税率も段階的に上昇し、日本の現行制度では5%から最高で45%に達します。これにより、高所得者の税負担を相対的に重くし、経済的な格差を是正する役割を担っています。
問12	答え 1 生活保護	公的扶助の代表的な例は生活保護です。日本国憲法第25条の「生存権」の理念に基づき、生活に困窮する人々に必要な給付を行い、最低限度の生活を保障します。選択肢にある雇用保険は「社会保険」、老人福祉は「社会福祉」、予防接種は「公衆衛生」にそれぞれ分類されます。分野ごとの具体的な制度の違いを理解しておくことが重要です。